

# バイデン：私は、人が私をサタンの生まれ変わりと考えよ うと平気だ

Greatchain  
2021/07/29

「民主党員である Joe Biden は、下院議長ナンシー・ペロシの委員会で、1月6日に起こった米議会 (Capitol) の暴動を調査するよう求められたとき、ある**奇妙な反応を示した。**」

NeonNettle は、冒頭のバイデン発言を、このように「奇妙な反応」odd response と報道しているが、私はこれを奇妙な反応でなく、バイデンの正直な気持ちを、思わず吐露したものと考える。

これより先にバイデンは、これも唐突に、「共和党には、我々が、子供の血を吸うらしいと、言っている者がいるのか？」などと記者に質問して、人々を驚かせた。これも、彼の単なる痴呆によるものでなく、強迫観念が正直に、口をついて出たものと考えられる。

私は何年も昔から、この世界に起こっている悪の本質が、何であるかを説明してきた。今起こっていることは、単なる暴動や恐怖や混乱でなく、その根源は純粋な悪であり、私はこれを pure evil とも unadulterated evil (混じり物のない悪)とも呼んできた。これは善と悪、神と悪魔、光と闇の、明瞭な対立として現れているものであり、そう考えなければ、その解決の糸口は見えてこないと言ってきた。聖書を引用してこうも言った：——「よい麦と悪い麦」の対立が**危機的に激化してきた**。そしてそれは現在、いわば象徴的に一触即発の、トランプとバイデンの対立という形を取っている。

バイデンは、トランプのすること、なすことを、ことごとく否定しなければならないようになっている。バイデンはサタンを演じなければならないようになっている。彼は自分の使命を（おそらく無意識に）自覚している。これはペロシとか、他の民主党員にはできない仕事だった。彼は自分自身を、神にでなく、サタンに捧げることのできる、純粋な人間でなければならなかった。彼を操る「グローバル・エリート」が誰であれ、彼らはバイデンを最適任者として選んだと思われる。

バイデンこそ、この恐ろしい使命に耐えられる人間だった。彼は徹底的に墮落し、墮落することのできる人間だった。彼が、息子のハンターを誇りに思っていることは、状況から

明らである。(普通それはできない。)また、平然と人前で女兒に触るようなこともできる人間だった。彼は「選ばれた人」であった。

彼は「選挙詐欺」を、悪いこととは全く思っていないことがわかる。先の大統領選の最中に、彼は堂々とこう言っている：——「我々が現在立っているのは、アメリカの政治の歴史の中で、**最も広範囲で包括的な投票詐欺組織を、我々が作り出した**ということであろう。」 <http://www.dcsociety.org/2012/info2012/201219.pdf>

アメリカという世界で最大の国（実は乗っ取った国）が、いよいよ隠すことができなくなり、サタンの正体を明らかにするようになったとき、どれほど恐ろしいこと起こるだろうか！ なぜなら彼らの究極の狙いは、この惑星とその人間を滅ぼすことだからである。「そんな馬鹿なことを」と笑う人は、ずっと隠蔽されてきた、その歴史を知らないからに過ぎない。

わが国の人々の大多数は、New World Order、グローバル・エリートといった言葉を、聞いたこともないだろう。それは誰のことか？ それはあなたのご主人のことである。なぜなら彼らは、そのようなアジェンダによって、人々を奴隷化しながら世界を運営しようとするからである。しかし今、ますます多くの人々が、世界的に目覚め初めつつある。ワクチン運動の背後に何があるかの発見も、その目覚めの一つである。

バイデンは自分が、ある人々に使われていることをほのめかし、「それは上の人に対してできないことだ」などと言ったことがある。そして彼らに忠誠を誓うときは、恐ろしい顔で命令して見せる。あの時々見せる恐ろしい顔が、作ったものであることを、多くの人は感じているだろう。

ところで我が国には、「目覚めている」人々が、どれくらいの割合でいるのだろうか？ これは、どれくらいの人々が騙されているのかという、由々しい問題である。我が国では、国家と主流メディアが癒着して、親バイデン、反トランプの体制をほぼ取っている。これが最近のワクチン騒動によってわかってきた。これは明らかに我々を悪の方向に誘導するものである。いったい米選挙が異常な手段で、不正な方法で決まったことを知っている人が、どれくらいいるのだろうか？ もし政府が意図的にこの誤情報を、国民に流しているのなら、それは犯罪である。それは Covid-19 ワクチンが、実験的なものであることを隠すのと同じ犯罪である。

もう一つわが国の人々のもつ間違った優越感によって、自らをサタンだと正直に警告するバイデンを、笑い物にするかもしれない。「何？ サタン？ ボケ老人が何を言っているか！」——このとき我々はたちどころに、恐ろしい復讐を受けると知るべきである。多くの人々

は、宗教そのものを軽視しているために、神を敵視する Satanism を馬鹿にするだろう。この非常識で、見境のつかない人々が、バイデン信者になり、それに気づきもしないという構図は容易に想像できる。サタンが国を滅ぼすのは早い。彼らは我々を殺すのではない。そんな馬鹿なことはしない。彼らは我々を痴呆化し、魂を抜かれたことにも気づかないようにするのである。それがすでに始まっているではないか？